

## アル・アクサ洪水第478日目：100万人のガザ人が北部に帰還し、「全面降伏」を嘆くベン・グヴィール

The Palestine Chronicle、2015年1月26日、脇浜義明訳 \*脚注は訳注



停戦合意初日、故郷ラファに戻るパレスチナ人避難民(Photo: via QNN)

### 主要事項

\*イスラエルは停戦でネツァリム回廊から撤退すると約束したにもかかわらず、なおも回廊の通行止め封鎖を続けている。

\*イスラエル軍はイスラエル・レバノン国境沿いに軍事動員を強め、故郷の町へ帰ろうとしている住民に銃撃している。

### 最新情報

1月27日 9:08am (パレスチナ時間)

\*ハマスの声明：ハマスは、避難民の帰還はパレスチナ人にとって大きな勝利で、イスラエルのガザ占領と住民強制的移転（民族浄化）計画は失敗したという声明を発表した。声明は大勢の住民が故郷の町へ戻る光景はパレスチナ人の粘り強さと復元力の証拠で、イスラエルはパレスチナ人民の強靱な意志を挫くことができなかった、と強調している。

\*イスラエル・メディア：イスラエル軍ラジオ放送は、ハマスが今朝避難民のガザ回廊北部への帰還はハマスの目的の実現だと述べたと放送した。放送は、同意の第一段階の後ガザ北部は再び人口密集地となり、イスラエルが戦争を始めるのが難しくなると指摘した。そのような複雑な状況の中で数週間以内に戦争に戻ることはほぼ不可能だと軍放送は説明した。

\*イスラエル・メディア：元国家安全保障大臣のイタマル・ベン・グヴィールは避難民のガザ北部への帰還に関し、それはハマスの勝利のイメージになると述べた。これは「イスラエルの完全勝利のイメージでなく、完全降伏の

イメージである」と彼は述べた。彼はこのイメージは「不法な取引」の結果だと非難し、ガザのすべてを破壊する戦争に戻れと呼びかけ、こんなことのためにイスラエル兵は命を犠牲にしたのではないと主張した。

\*SNS（ソーシャルメディア）：ガザの活動家たちはラシド通りを通して北部へ帰る避難民の集団を SNS で流している。その映像は、避難民たちが、この先大変な苦労があるにもかかわらず、帰還を喜び、「タクビール」（神は偉大なり）を唱和しながら帰っていく光景を映している。

\*イスラム聖戦の声明：イスラム聖戦は、避難民の帰還はパレスチナ人をガザから追放しようとしたイスラエルへの答えであると言った。何十万人もの避難民が、イスラエルが瓦礫の荒地にしてしまったガザ北部へ帰還する姿は、パレスチナ人を民族浄化する夢を見ていたイスラエルに対する強力な答えだと、イスラム戦線は声明を出した。声明はパレスチナ人の「スムード（忍耐）」を強調し、パレスチナ人の強靱な粘り強さはシオニストの野望を打ち砕くであろうと宣言している。

\*イスラエル・メディア：イエディオト・アハロノトが取材したイスラエル軍筋によれば、ネツァリム回廊を、それに代わるしっかりした対応もなしに、手放すのはイスラエルにとって高い代償となる。ネツァリム回廊がハマスにとって重要であるのは明白で、それは交渉の重要カードとして取っておくべきである。

**1月27日 7:11am**

\*イスラエル・メディア：チャンネル12は避難民のガザ北部への帰還に向けた準備として、イスラエル軍がネツァリム回廊から撤退を始めた報道した。

\*パレスチナ・メディア：ガザ内務省は今日午前7時にアル・ラシド通りが歩行者のために両方向で開かれると発表した。但し合意によって自動車の通行は許可されていない。サラハ・アッディーン通りは午前9時に開かれ、北から南へ向かう自動車が通れるが、必ず検問を受ける、と発表した。

\*パレスチナ・メディア：イスラエル占領当局はベツレヘムの東のアル・ヌウマーン村の45軒の家に対して、許可がないとして、解体命令をだした。これらの家屋は1948年からあったもので、一部が1993年に建築されただけだ。

\*SNS：避難民がアル・ラシド通りを通してガザ北部へ帰る初めての映像がネットに流された。これはハマスが人質の一部をパレスチナ囚人の釈放と引き換えに解放するというイスラエルとハマスの間の取引の結果である。

\*パレスチナ・メディア：数千人の避難民がアル・ラシド通りを通して北部へ帰ろうとしてネツァリム回廊近くに集まり始めている。合意によって、今日から避難民の帰還が始まり、また、今日、イスラエルは段階的に釈放する予定の400人のパレスチナ囚人のリストを発表する。

**1月27日 3:54am**

\*米国メディア：トランプ大統領の中東特使のステイーヴ・ウィトコフは、人質に関する合意について、これは人質にとって祝福すべき日であり、停戦合意の次の段階へ移ることを期待していると、述べた。

\*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は、エルサレム北部のシュアファート難民キャンプ、ナブルスの町セバシータとフレイクなどを含む西岸地区のいくつかの町を攻撃した。住民に対する襲撃と逮捕が行われた。

\*レバノン・メディア：レバノン政府は、米国の仲介で、1月26日で期限が切れる停戦を2月18日まで延長することに同意したと発表した。イスラエルが停戦を守らず、軍を南レバノンから撤去していない状態の中の処置である。

\*パレスチナ・メディア：パレスチナ情報筋によると、イスラエル占領軍は今朝ジェニン公立病院を襲撃し、患者と医師の捜索を行った。

\*パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル占領軍はナブルス南西部のテル村とヘブロン北部の町ベイト・ウンマルを襲撃した。また、パレスチナ・メディアは、占領軍がヘブロン南西部のアル・ジャバリ地区を襲い、住民を攻撃し逮捕した、と伝えた。

**1月27日 1:01am**

\*アル・ジャジーラ：1月30日前に解放する人質の数を増やすという提案は、レジスタンス側からの自発的提案であり、交渉失敗の危機のためではなかった。第一段階で生きて解放されるイスラエル人質の数は予想以上に

---

<sup>1</sup> ハマスは、1月30日に女性一人を含む3人の人質が解放すると1月26日に表明し、その見返りにイスラエルはガザ南北を結ぶ道路の封鎖を解いて避難民の通行を認めていたが、ハマスが解放するとした人質の中に女性が含まれていな

多く、6 週間以上の交換には十分である。レジスタンス側は合意どおりに最終段階の残余の捕虜交換の人数を制限しなかった。レジスタンス側の解放人質の人数の増加提案は、私たちの民衆により多くの安心をもたらし、合意に従って交換人数を最終週に制限することを避けるために生まれた。レジスタンスによるこのイニシアチブは、避難民の帰還危機への解決案を提供した。

\*イスラエル・メディア：イスラエル・ハヨムは、ハマスが第一段階で解放するとして人質のリストを仲介者に提示したが、そのほとんどは生きているというイスラエル高官の発言を報道した。イスラエル・ハヨムはリストはイスラエル政府の18人は生きているが8人は遺体で帰ってくるだろうという予測と合致していると報道した。

\*イスラエル軍の声明：イスラエル軍報道官は次のように発表した。「避難民が地元時間の午前7時からネツァリム回廊とアル・ラシド通りを歩いてガザ北部へ帰ることを許可する。自動車の場合は、やはり午前7時から、検問を受けたうえでサラーハ・アル・ディン道路を通して北部へ帰ることを許可する。ラファ検問所、フィラデルフィ回廊、我が軍が駐留する地区は立ち入り禁止である。今後数日間は、ガザの海で泳いだり、漁をしたり、ダイビングをしたり、その他海に入ることを禁じる。」

**1月27日 12:26am**

\*SNS：27日朝に北部へ帰還できる知らせを受けた避難民が喜んでアル・ラシド通りを歩む映像がSNSに現れた。

**1月27日 12:24am**

\*イスラエル・メディア：イスラエル首相府は、ディアスポラ問題担当大臣アミハイ・チクリの予定していたEU会議出席のためにブルッセルへ行くのを、身の安全のために、中止させた<sup>2</sup>。

\*イスラエル・メディア：国内治安機関シャバクはイスラエル航空に治安上の理由でキプロスのパフォス空港への飛行便を中止することを命じた。

\*レバノン・メディア：レバノン外務省は、停戦を無視してイスラエルが南レバノンの住民を攻撃していることを非難し、国際社会に停戦合意を守り、占領地から軍を撤去せよとイスラエルに圧力をかけることを要請した。

\*ハマスの声明：ハマスはエジプトとヨルダンがパレスチナ人の強制移住に反対する強い姿勢であることに感謝した<sup>3</sup>。ハマスはパレスチナ人の揺るぎないパレスチナの地への愛着を強調し、いかなる形の追放にも反対した、ハマスはアラブ連盟とイスラム協力機構にパレスチナ人追放に反対し、パレスチナ人の民族的権利を支援するように要請した。

\*パレスチナ・メディア：エルサレムの北のカランディア検問所付近でイスラエル軍の銃撃を受けて3人のパレスチナ人若者が負傷し、そのうち一人は重傷である。他にも、過激派入植者が占領地エルサレムでパレスチナ人の自動車に投石攻撃を行った。

\*パレスチナ・メディア：ジェニン市の環状交差点でパレスチナ・レジスタンス戦士が爆発物を仕掛けて侵入してくるイスラエル軍に対峙した。イスラエル軍はジャラメ検問所の部隊をジェニンへ増援隊として派遣した。イスラエル軍ブルドーザーがタラート・アル・ガビズ地区の住宅を破壊して、ジェニン難民キャンプのアッダマージ地区へ進撃する道を拓こうとしている。

\*パレスチナ・メディア：パレスチナ保健省はカランディア検問所でイスラエル軍によって若者1人が殺害され、2人が怪我を負わされたと発表した。

\*アル・ジャジーラ：カタール外務省の報道官マジド・アル・アンサリは、ハマスが1月30日前にエルビル・イエフドと二人の人質を解放する合意が成立したことを確認した。それを受けてイスラエルは1月27日朝から避難民の北部への帰還を許可する。さらにハマスは追加として3人の人質を1月29日に解放するとして。イスラエル側は昨年の10月以降拘留している400人のリストも提供することになる。

---

かったので、イスラエルは合意違反だとして道路の通行を禁止した。女性はハマスでなくイスラム聖戦が拘束していた。そういう危機があった。

<sup>2</sup> 「身の安全」というのは、国際裁判所の逮捕状で、逮捕されたり、戦争犯罪で起訴されることへの懸念であろう。

<sup>3</sup> トランプはガザ停戦の功労者だと吹聴しながら、ガザのパレスチナ人をエジプトとヨルダンに移住させよと言って、イスラエルの民族浄化に協力している。

\*パレスチナ・メディア：ハマスは停戦と捕虜交換合意の第一段階として解放する人質のリストを仲介者に渡したことを発表した。停戦条件に従って1月26日夕方に渡された。

\*イスラエル・メディア：首相府からの正式声明で、ガザ避難民が27日朝から北部へ帰還することを許可されることが確認された。イスラエル人質のエルビル・イエフド、兵士アガム・ベルガー、その他の人質の解放も行われる。イスラエル政府は第一段階で解放される人質のリストを受け取った。

**1月26日 11:23 pm**

\*エジプト外務省：我々は、追放、入植地建設、土地の併合などの形でパレスチナ人の権利が侵害されることに反対する。我々はパレスチナ人の強靱な闘いと彼らの正当な郷土への権利主張を支持する。我々は強制追放、移住の奨励、土地の剥奪を通じて領土の正当な持ち主であるパレスチナ人を土地から切り離すことに反対する。我々は国際社会に「二国家解決案」を実現し、パレスチナ領全土にパレスチナ国の樹立するために具体的な行動をすることを呼びかける。

**1月26日 9:57 pm**

\*イスラエル首相府：首相府は、保安機構からの安全対策勧告に従って、予定していたディアスポラ問題担当大臣アミハイ・チクリのEU会議に出席するためのブリュッセル訪問をキャンセルした。

\*カン：人質のエルビル・イエフドの解放に関する合意が整い、仲介国との交渉が行われている。

\*チャンネル13：イスラエル政府はエルベル・イエフドの解放の正確な時を待っている。政府は1月29日になるように願っている。

**1月26日 8:48 pm**

\*アル・クッズ旅団：我らの戦士が、ジェニンの映画館付近でイスラエル軍車両に対して仕掛けてあった爆弾を爆発させた。

\*アル・ジャジーラ：イスラム聖戦軍事部門のサラヤ・アル・クッズ旅団軍事評議会のアブ・アハマド書記長はイスラエル人質のエルベル・イエフドは元気に生存していると仲介国に伝えたと述べた。彼はイエフド解放について難癖をつけて避難民の帰還の喜びを潰そうとしたイスラエルを非難し、避難民の帰還を妨害するイスラエルの口実を無効にするために必要な手段を講じたと述べた。

**1月26日 6:52 pm**

\*リンゼー・グラム上院議員：リンゼー・グラム上院議員はトランプ大統領のパレスチナ人をガザから移住させる発想を、実行不可能として、批判した。彼はアラブ諸国がパレスチナ人のガザからの追放を支持しないと云った。

\*イスラム聖戦：イスラム聖戦運動の副事務総長モハンマド・ヒンディは人質のエルベル・イエフドが生きっていると述べた。彼は30人のパレスチナ人囚人の釈放と引き換えに25日の前にイエフドを釈放せよという仲介者の提案を受け入れたと述べた。

\*ヨルダン国外務大臣：ヨルダンのアイマン・サファディ外務大臣は和平プロセスに関してのヨルダンの姿勢は、パレスチナ問題の解決はパレスチナ人主導で行うべきだという主張だと述べた。彼はヨルダンはパレスチナ人のガザからの追放に反対し、二国家解決案を和平への道として支持する従来の姿勢を繰り返したと述べた。

\*マアリブ：イスラエルのマアリブ紙は人質エルベル・イエフド釈放に関する合意が成立したと報道した。1月31日に30人のパレスチナ人終身刑囚の釈放と引き換えに解放される。

\*イスラム聖戦高官（アル・ジャジーラの取材で）：イスラム聖戦高官は人質エルベル・イエフドの件では今晚に突破口が開ける希望がある、仲介者が1月30日前にイエフド解放をするように要請している、と述べた。

**1月26日 4:07 pm**

\*カン：1月27日の国際ホロコースト記念日に参加するイスラエルのヨアブ・キッシュ教育大臣を逮捕せよという告発がポーランド検察庁に提出された<sup>4</sup>。

\*PFLP：新追放計画、とりわけトランプが提案したトランスファー計画は成功するはずがない。パレスチナ人が全力をあげて抵抗するからだ。PFLPの声明は米政府がパレスチナ人に対する犯罪（民族浄化）の共犯であると非難している。

---

<sup>4</sup> ポーランドの人権活動家がヨアブ・キッシュを、2016年のガザ攻撃の際に犯した戦争犯罪で、逮捕するように訴えた。

\*アル・クッズ旅団：エルベル・イエフドは彼女の仲間といっしょに我々レジスタンス連合部隊が捕らえた人質で、交渉団と仲介者の間で成立した取り決めに従って解放する。

\*ハマス：最悪のジェノサイドに抵抗したパレスチナ人民は、追放とか強制移住計画を完全拒否する。ハマス抵抗運動は米政権にそのような提案を促進しないことを要求する。それはイスラエルのパレスチナ人民族浄化に組するもので、パレスチナ人の権利と対立するものだ。

\*チャンネル14：イスラエル軍は北部戦線における緊急事態に備えて防空システムを最高警戒レベルに引き上げた。

\*イスラエル軍：我が空軍の無人機がナブルスのバラータ難民キャンプを攻撃した。

\*レバノン保健省：イスラエル軍の南レバノンへの空爆で11人のレバノン人が死亡し、83人が負傷した。

**1月26日 12:58 pm**

\*アル・ジャジーラ：レバノン国軍は南レバノンのマルワヒンとアル・ジャバルでイスラエル軍が発砲して兵士1人が死亡し、1人が負傷したと発表した。

**1月26日 12:14 pm**

\*ハマス：我々は占領軍が避難民の北部への帰還を止めていることに関して交渉仲介者と連絡調整している。イスラエル占領軍の避難民の足止めは停戦合意違反である。占領軍は、我々がエルベル・イエフドは生存しており、必ず解放すると言っているにもかかわらず、イエフドの件を口実にして停戦協定違反を行っている。我々は占領軍の合意違反を非難し、避難民が安心して帰還できるように責任をもって仲介者と調整している。

\*アル・ジャジーラ：イスラエルのギデオン・サル外務大臣はバイデン政権が制限していた2000ポンドの大型爆弾の供与を再開したことに感謝した。

\*アル・ジャジーラ：レバノンの暫定首相は停戦仲介国にイスラエルに停戦違反をやめさせ、軍をレバノンから撤退させるように要請した。そして、「停戦協定と国連安保理1701号決議を破ることは重大な結果を招くことになる」と警告した。

\*ガザ政府メディア・オフィス：イスラエル占領軍は停戦合意を守らず、8時をすぎてもまだラシド通りとサラハ・アッディーン通りに軍を駐留させている。住民は銃撃される恐れがあるので、その地区に近寄らないように。

\*アル・ジャジーラ：レバノン保健省は、南レバノンで停戦を信じて故郷へ帰還する住民に対してイスラエル軍が銃撃し、2人が死亡、31人が負傷したと発表した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル・メディアは、イスラエル北部戦線で戦闘再開懸念とGPSの混乱のために、レバノン国境付近の警戒レベルが高まったと報道した。

\*アル・ジャジーラ：ベザレル・スモトリッチ財務大臣はガザ住民を近隣諸国へ強制移住させる計画をネタニヤフ首相と話し合ったと述べた。

\*ロイター電：ドナルド・トランプ大統領は大勢のパレスチナ人をガザから移住させることを提案し、これは暫定的になるかもしれなし、あるいは恒久的になるかもしれないと述べた。「ガザの壊滅状態を見れば、近隣アラブ諸国が自国内に家屋を建設してガザのパレスチナ人を住まわせればよいのだ」と付け加えた。